

マリアの風 Web 6/7



ありがとう

2025年4月13日から大阪・関西万博が始まりました。多数のパビリオンでの展示やイベントが催されているようで、興味津々ですが、残念ながら訪れる予定は今のところありません。開会式の様子を YouTube で見ることができましたが、最新の技術と精緻な技巧を凝らしたパフォーマンスが披露され、幻想的で、高揚感を味わえる開会式だと感じました。

その中で吉村大阪府知事の挨拶が話題にな

っています。約5分間の短いスピーチでしたが、工事関係者やボランティアスタッフから始まって、関わったすべての人々それぞれに向けて、合計7回「ありがとう」と述べたのです。その7回のありがとうの後に、会場の参加者から毎回拍手が寄せられました。その雰囲気がとてもいいなと感じました。知事の言葉を聞いて、関わったすべての人が報われたと感じたのではないかと思います。その一言ですべ

ての苦勞が喜びに変えられたような気がします。

「ありがとう」って人の心を優しく包む言葉だと改めて感じました。私達の毎日は色々な出会いがあり色々な出来事があります。また色々なものが与えられています。そのような私を取り巻くものが私を作り成長させてくれているのです。それらに対して素直に感謝で

きる心があると、しあわせなのではないでしょうか。苦勞はたくさんありますし、時に思い通りにならなかったり、後悔したりということもありますが、それでも今の自分を取り囲んでいるものに「ありがとう」と思えたら、声に出して「ありがとう」と言ってみたら、こころの向きを明るく、柔らかに変えられると思います。

「ありがとう」—身近なミラクル言葉です。

(院長 山中淳子)

研修医紹介

みやぎ ゆうへい 先生 Dr. Miyagi Yuhei



五島には今まで何度か聞か事があり、とても好きな場所だったため、今回研修先として選ばせてもらいました。

人は優しく、海はきれいで、美味しいものがたくさんあり五島で研修できてうれしいです。よろしくお願いします。

◇出身地…福岡県

◇趣味…ゴルフ、釣り、サッカー

◇志望科…産婦人科

◇研修期間…令和7年5月18日～7月12日

Profile



火災避難訓練

5月16日 夜間に火災が発生した想定で、避難訓練を行いました。夜勤帯では、医療スタッフは少人数となり、暗闇の中での行動となります。気温や天候などの影響も考えると、実際の避難はさらに困難であることが予測されます。普段から、もしもの時のことを考えておく必要を感じました。



聖母月のつどい

5月31日(土)聖母月にあたり、入院中の患者さんと職員、シスターたちが集い、世界の平和と病気で苦しむ人の回復を願って、ロザリオの祈りを捧げました。



第24回聖マリア病院 学術研修発表会



6月19日(木)、聖マリア病院各所と聖マリアの園、みみらくの里、緑の園をオンラインでつなぎ、第24回聖マリア病院院内学術研究発表会が開催されました。日常の業務に関連する内容で、高齢者や小児を取り巻く医療について学びを深めることができました。演題は以下の通りです。

- ①『2024 年入退院の現状と療養病棟転棟者の考察』 聖マリア病院 地域連携室
- ②『地域包括ケア病棟の ADL について～リハビリテーション介入による FIM の変化から考察する～』
聖マリア病院 リハビリテーション室
- ③『安楽な排泄ケアへの取り組み～尿漏れを無くしつつ、
オムツ交換の回数を減らし安眠妨害のリスクを抑える～』 聖マリア病院 看護部介護士
- ④『当院における予防接種の実際』 聖マリア病院小児科



充実した日々に感謝！

■6月末で出向の期間を終えた理学療法士 加茂龍樹さんに、五島での生活について語っていただきました。



久留米聖マリア病院に就職して、先輩方が五島出向されていることは知っていましたが、自分には無縁だと考えており、お話をいただくまでは、正直五島について興味や関心を持っておらず、渡航が決定したときは驚きが一番でした。それから五島について調べるようになり、漁業が盛んで魚が新鮮でおいしいことや自然豊かで絶景スポットが多いことを知りました。私自身ドライブやアウトドアが好きなこともあり、わくわくしながら4月に五島に来ました。

五島聖マリア病院での勤務は、職場に馴染めるか不安な部分が多かったですが、スタッフの皆様がフランクに話しかけてくださり、不安なく業務に取り組むことができました。また、イカ釣りや食事に連れて行ってくださったり、ゴルフに誘ってくださったりとプライバー

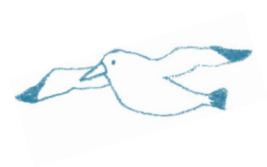
トでの付き合いも多く、充実した生活を送ることができました。

五島は高齢化が進んでおり、独居で生活している方が多い中、地域包括ケア病棟は2か月程度で退院をするので、自立して安全に生活するための能力を推測してリハビリを遂行していく必要があり、改めて退院後の生活予測の重要性、また多職種連携の大切さを身に染みて感じました。

この3か月間は長いようであっという間に過ぎ、とても貴重な経験をさせていただきました。職場でもプライベートでも五島の方々の親切さや温かみに触れ、本当に五島が大好きになりました。これからまた久留米での仕事になりますが、この経験を活かしていきます。そしてまた、五島に遊びに来たいと思っています。本当にお世話になりました。

お知らせ

・8月15日(金)外来診療はお休みです



【求人募集】

聖マリア病院では、医師、看護師、給食作業員を募集しています。
詳細はホームページをご覧ください。

次回発行日は令和7年9月1日です。

今月の写真



編集者より



ご自身がお庭で育てた花を惜しげもなく切って持って来てくださる患者さんがいます。1階ロビーの聖母子像の前にはそんな花たちが飾られています。いつもありがとうございます。

最近、ツバメの巣立ちに遭遇しました。春に日本にやってきたツバメは繁殖を終え、10月頃には南方へと渡っていきます。卵から孵ったヒナは3週間ほどで親と同じくらい大きさに成長し、飛べるようになるそう。秋になるまでに餌の獲り方や数千キロ飛行する技術を身につけなければなりません。小さなツバメの成長の早さと能力の高さに驚くばかりです。今年の夏も暑くなるのでしょうか。秋に向けて懸命に生きているツバメに励まされながら、夏バテせずに過ごしたいものです。

(編集者)